

# 岡崎京子展



## 戦場の ガールズ・ライフ

あたしはあたしがつくったのよ\*

開館時間：10時～18時（展覧会入場、ミュージアムショップは17時30分まで）  
休館日：毎月曜日／主催：公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館／後援：世田谷区／助成：  
芸術文化振興基金／観覧料：一般800（640）円、65歳以上・高校・大学生600（480）円、小・中学生300（240）円、障害者手帳をお持ちの方400（320）円 ※（内  
は20名以上の団体割引 ※「せたがやアートカード」割引あり ※1月30日（金）は65歳以上無料／会場：世田谷文学館 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10 電話：  
03-5374-9111 ファクス：03-5374-9120 <http://www.setabun.or.jp/> デザイン：ロスフィッシュ コバーネ・モジカ（原画） ©岡崎京子／宝島社 \*ハルタースタレター



芸術文化振興基金

プレスリリース お問い合わせ

世田谷文学館学芸部 担当：大竹・宮崎・庭山  
TEL：03-5374-9111 FAX：03-5374-9120  
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10

## 一人の少女＝マンガ家が見つめた、あの時代、その行方

『pink』『リバーズ・エッジ』『ヘルタースケルター』などで知られ、1980～90年代を象徴するマンガ家となった岡崎京子。下北沢の理髪店に生まれ育ち、短大在学中にデビュー以後、マンガ雑誌にとどまらず「平凡パンチ」「CUTiE」といった週刊誌、ファッション誌などを舞台に次々と作品を発表して脚光を浴びましたが、1996年、不慮の事故により活動を休止します。その後も未刊作品の出版や復刊が相次ぎ、2012年には『ヘルタースケルター』が映画化されるなど、今も新たな読者を獲得し続けています。

女の子たちの夢や憧れを紡ぐ少女マンガとは対照的な、都市に生きる少女の日常、変容する家族像、高度資本主義下における女性の欲望や不安といった時代の現実を果敢に描き続けた岡崎京子。本展は、彼女のこれまでの仕事を取り上げる初めての大規模な展覧会です。彼女が見つめた時代とその行方を、300点以上の原画をはじめ、学生時代のイラストやスケッチ、80～90年代の時代を画した掲載誌の数々、映画版『ヘルタースケルター』ほか関連の資料を通して見てゆきます。



『pink』カバー原画  
©岡崎京子/マガジンハウス

いつも一人の女の子のことを書こうと思っている。

いつも。たった一人の。一人ぼっちの。一人の女の子の落ちかたというものを。

——「ノート（ある日の）」より

## 岡崎 京子 Kyoko Okazaki .....

マンガ家。1963年東京都下北沢生まれ、射手座のB型。小学生の頃からマンガ家を志し、中学時代からイラスト等を雑誌に投稿。83年の短大在学時に雑誌「漫画ブリッコ」でデビュー。85年、21歳で初めての単行本『バーズ』（白夜書房）を刊行した。以降、マンガ雑誌のみならずファッション、音楽雑誌等にも作品を発表、“東京ガール”として80～90年代の時代の先端に立ち続ける。主な作品に『pink』（マガジンハウス）、『リバーズ・エッジ』（宝島社）、『東京ガールズブラボー』（宝島社）ほか。『ヘルタースケルター』（祥伝社）は、文化庁メディア芸術祭・マンガ部門優秀賞、手塚治虫文化賞マンガ大賞を受賞し、2012年に映画化（監督：蜷川実花）された。96年に交通事故に遭い、現在、自宅療養中。



撮影：荒木経惟 1989年



本展の見どころ .....

- 原画 300 点以上!!  
幻の単行本未収録作品も
- 映画『ヘルタースケルター』など、  
関連資料も多数出品!!



『東京ガールズブラボー』原画  
©岡崎京子/宝島社

展覧会によせて .....

私はいつも  
彼女の作品といっしょに生きている。  
まだまだいっしょに歩いて行こうと思う。

—— よしもとばなな

**最高に凄かった。最高に光ってた。**

岡崎京子さんの作品、掲載されている雑誌、気分、  
**全部がTOKYOだった。**

—— 村上隆

それはたしかに**グロテスクだ。だから美しい。**

同時にその表現に、95年を境とする時代相とサブカルチャーの  
変容を予兆する力があると思えてならない。

—— 宮沢章夫

**前を向いて絶望する勇氣。**

これが岡崎京子の凄さだし、  
また彼女を含む多くの、80年代以降の女性マンガ家たちの  
ひそかな特徴だったのではないかと、私には思えてならない。

—— 夏目房之介

岡崎さんの作品はカルチャーではなく  
フェノミナ（現象）だった。たくさんの少女たちに、  
少女であることのしたたかさと辛さと勇氣と愛を与えた。  
そして**永遠の少女の自立**という矛盾に満ちた現象は、  
いまや日本にとって自明の理になった。

—— 手塚眞

これはもしかしたら、川の流れが淀んでしまった世界を予告する  
**現代の方丈記**だったのかもしれない。

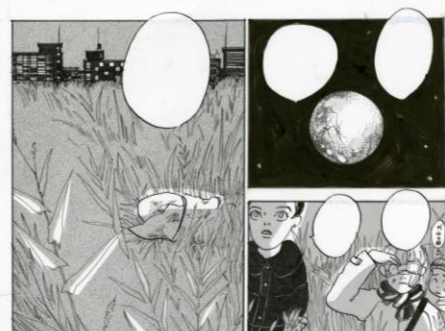
—— 中条省平



映画『ヘルタースケルター』  
DVD&ブルーレイ 発売中&レンタル中  
©2012 映画『ヘルタースケルター』  
製作委員会  
©岡崎京子/祥伝社



『ヘルタースケルター』扉原画  
©岡崎京子/祥伝社フィールコミックス



『リバーズ・エッジ』原画  
©岡崎京子/宝島社

## 関連イベント

### ① 『ひなぎく』上映+ミニトーク

岡崎京子が愛する60年代女の子映画の決定版！  
『オリーブ少女ライフ』の著者がその魅力を語るトーク付き。

上映作品:『ひなぎく』 ※DVD 上映

(監督:ヴェラ・ヒティロヴァー / チェコスロバキア / 1966年 / 75分)

トーク出演:山崎まどか(文筆家)

日時:1月25日(日)15:00~17:00 会場:文学サロン 参加費:500円

定員:150名 参加方法:当日先着順(当日13:30より整理券配布。定員に達し次第終了)



『ひなぎく』  
監督:ヴェラ・ヒティロヴァー  
©State Cinematography Fund  
配給:チェスキー・ケー

3月7日(土)~20日(金)にシアター・イメージフォーラムで開催される「ヒティロヴァー監督追悼(一周忌)アンコール上映」との  
コラボレーションも決定。「岡崎京子展」半券提示でシアター・イメージフォーラムでの『ひなぎく』特別割引!(一般・大学・専門学  
校生1300円より100円引きで1200円に) 詳細は公式サイトでご確認を! <http://www.hinagiku2014.jimdo.com>

### ② レクチャー「ニッポン戦後サブカルチャー史 岡崎京子特論」

講師:宮沢章夫(劇作家・演出家・作家)

日時:1月31日(土)15:00~16:30 会場:文学サロン 参加費:500円

定員:150名 参加方法:事前申込制

### ③ ワークショップ「“90年代” ZINEをつくろう！」

マンガを介してコミュニケーションを生み出すユニット「マンガナイト」がご案内します。

90年代の雑誌・マンガ・CDなど自分のお気に入りを持ち寄って、みんなでZINE(小冊子)をつくります。

企画:マンガナイト 日時:2月15日(日)14:00~17:00 会場:講義室 参加費:500円

定員:40名 参加方法:事前申込制

### ④ ワークショップ「あみぐるみをつくろう！」

「かわいい」だけじゃない、編み物でつくるぬいぐるみ。

90年代に岡崎京子も魅かれたあみぐるみで、動物の指人形をつくります。

講師:タカモリ・トモコ(あみぐるみ作家)

日時:2月28日(土)14:00~16:00 会場:講義室 参加費:1,000円(材料費含む)

定員:25名(小学生は保護者同伴) 参加方法:事前申込制

### ⑤ ギャラリートーク

岡崎京子をよく知るゲストたちが展覧会をナビゲートします。

詳細決まり次第、HP(<http://www.setabun.or.jp>)で随時お知らせします。

#### 事前申込方法

イベント②③④は、イベント開催2週間前(必着)までに、Eメール(okazakievent@gmail.com)にて、①氏名(ふりがな) ※2人まで連名可 ②年齢 ③〒・住所 ④電話番号を明記し、タイトルにイベント名を記載してお送りください。応募者多数の場合は抽選になります。

#### ○託児サービス(事前申込み制・有料)

2月28日(土)13:30~16:30 3月26日(木)13:00~15:00

申込み・問合せ先:イベント託児®マザーズ TEL0120-788-222(平日10:00~12:00、13:00~17:00)

## 展覧会公式カタログ

約 400 ページに及ぶ公式カタログが出版されます。(会場および全国書店にて販売)

主な掲載内容

- ◆多数の原画、単行本未収録の幻の作品
- ◆よしもとばなな、小沢健二らによるエッセイ
- ◆大塚英志、樫木野衣による評論
- ◆桜沢エリカ×安野モヨコ×しまおまほによる鼎談
- ◆多ジャンルの作家による岡崎京子トリビュート作品 etc.

デザイン：祖父江慎+コズフィッシュ

発行：平凡社

価格：2,300 円(税別)

## 展覧会オリジナルグッズ

岡崎京子のキュートなオリジナルグッズ。デザインは祖父江慎+コズフィッシュ。

会期中、数量限定で世田谷文学館だけの販売です。

- ◆マスキングテープ “I wanna be your dog”
- ◆オリジナル・ポストカード 9 種
- ◆“ショコラ・エブリデイ” なチョコレート菓子 2 種 (ブラウニー、ラスク)

## 開催要項

- 展覧会名** 岡崎京子展 戦場のガールズ・ライフ
- 会期** 2015 年 1 月 24 日(土)～3 月 31 日(火)
- 会場** 世田谷文学館 2 階展示室
- 開館時間** 10:00～18:00(展覧会入場、ミュージアムショップは 17:30 まで)
- 休館日** 毎週月曜日
- 観覧料** 一般 800(640)円、65 歳以上・高校・大学生 600(480)円、小中学生 300(240)円、  
障害者手帳をお持ちの方 400(320)円 \*( )内は 20 名以上の団体割引  
\*「せたがやアーツカード」割引あり \*1 月 30 日(金)は 65 歳以上無料
- 交通案内** 京王線：芦花公園駅南口から徒歩 5 分  
小田急線：千歳船橋駅から京王バス(「千歳烏山駅」行)「芦花恒春園」下車徒歩 5 分

- 主催** 公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館
- 後援** 世田谷区
- 助成** 芸術文化振興基金
- アート・ディレクション** 祖父江慎+コズフィッシュ



## 世田谷文学館

SETAGAYA LITERARY MUSEUM

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10

TEL 03-5374-9111 FAX 03-5374-9120

<http://www.setabun.or.jp/>



広報用画像リスト.....

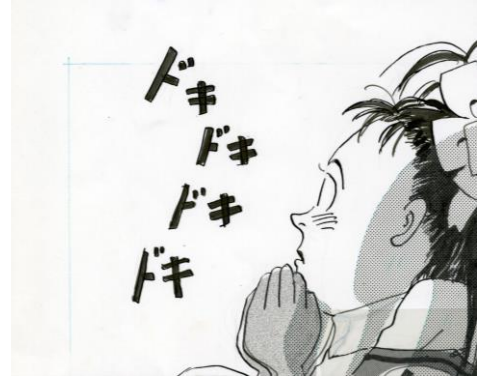
画像①



画像②



画像③



画像④



画像⑤



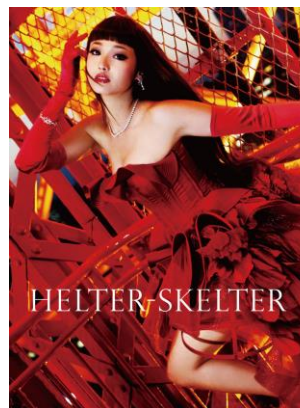
画像⑥



画像⑦



画像⑧



画像⑨



# 岡崎京子展 戦場のガールズ・ライフ 広報用画像貸出申込書

世田谷文学館学芸部 中垣・加藤行  
FAX 03-5374-9120

展覧会広報用として画像をご用意しています。ご希望の際は下記貸出条件をご確認のうえ、本申込書に必要事項をご記入いただき、FAXにてお申し込みください。EメールにてJPGデータで画像をお送りいたします。なお、本展記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正紙をお送りください。また、発行後、掲載誌を1部お送りください。  
読者・視聴者プレゼント用に招待券をご用意しています。ご希望の場合は、あわせてお申し込みください。(プレゼント当選者への発送作業は御社にてご負担ください。)

## 広報用画像貸出条件

- 画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- 画像のトリミング、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- 画像データは、ご使用後必ず消去してください。
- 画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- インターネット上で掲載する場合には、画像をコピーできないよう処置し、会期終了後は必ず削除してください。
- 画像には撮影者、提供先のクレジット表記を必ずお入れ下さい。

掲載雑誌名・番組名・WEBサイト名

媒体種別 新聞・雑誌・フリーペーパー・テレビ・ラジオ・WEBサイト

発売・放送・更新予定日

御社名

御担当者名

御住所

Eメールアドレス

電話番号

FAX 番号

画像（ご希望の画像番号に印をつけてください。）

- 画像1 『リバーズ・エッジ』カバー原画 ©岡崎京子／宝島社
- 画像2 『pink』カバー原画 ©岡崎京子／マガジンハウス
- 画像3 『東京ガールズブラボー』原画 ©岡崎京子／宝島社
- 画像4 『リバーズ・エッジ』原画 ©岡崎京子／宝島社
- 画像5 『チワワちゃん』カバー原画 ©岡崎京子／KADOKAWA
- 画像6 『うたかたの日々』原画 ©岡崎京子／宝島社
- 画像7 『ヘルタースケルター』扉 ©岡崎京子／祥伝社フィールコミックス
- 画像8 映画『ヘルタースケルター』DVD&ブルーレイ 発売中&レンタル中  
©2012映画『ヘルタースケルター』製作委員会 ©岡崎京子/祥伝社
- 画像9 映画『ひなぎく』監督：ヴェラ・ヒティロヴァー  
©State Cinematography Fund 配給：チェスキー・ケー

プレゼント用招待券のご希望(ご希望の場合は印をつけてください)

- 5組10名様分
- 10組20名様分